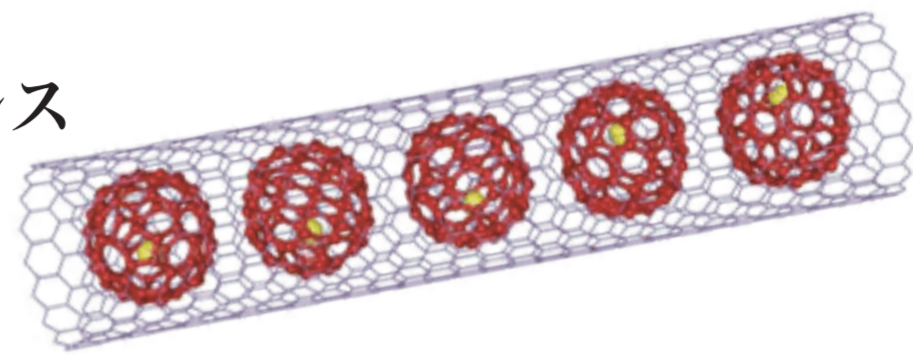


ナノサイエンスを舞台とする 若き分子科学者達の挑戦

2010. 12 . 8 (水) 参加費無料
9:30~18:10 (9:00開場)

場所：東京ガーデンパレス
〒113-0034
東京都文京区湯島1-7-5



申込先：<http://www.build-up.jst.go.jp/>
締め切り日：平成22年11月30日(火)
主催：独立行政法人 科学技術振興機構

お問合せ：さきがけ「構造制御と機能」領域事務所
Tel: 052-789-1471 Fax: 052-789-1472
e-mail: infodesk-2@build-up.jst.go.jp

「さきがけ」は、独立行政法人科学技術振興機構（JST）が、科学技術イノベーションの創出につながる新技術を創出することを目的として推進している戦略的創造研究推進事業の一つで、国の政策実現に向けて個人の独創性により技術シーズを創出する競争的資金制度です。

平成17年度に発足した当研究領域は原子や分子をナノレベルで制御し、欲しい構造を欲しいタイミングで欲しい場所に積み上げて造るビルドアップ型ナノテクノロジーの確立を目標に、これまで5年余にわたり延べ37名の若き研究者がそれぞれ独創的な研究課題に取り組んでまいりました。

領域最後の成果報告会となる今回は、最先端の研究分野でチャレンジングな目標に挑んだ13名の研究者の3年間の研究成果をまとめて紹介いたします。

いずれの研究課題も近未来の社会に貢献しうる個性豊かな成果を生み出せたものと考えます。是非この機会に、一人でも多くの方にご参加いただきその意義を評価願いたく存じます。



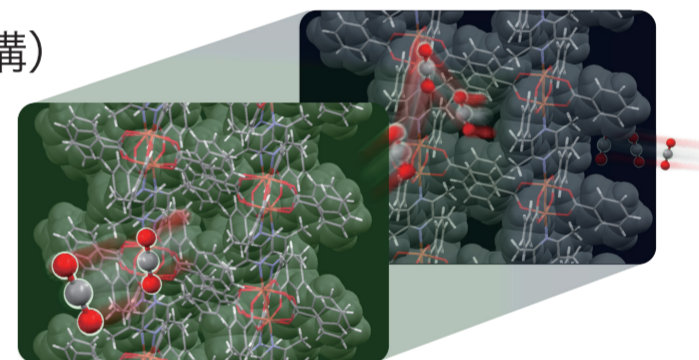
研究総括 岡本佳男



石田 康博（理化学研究所基幹研究所）
酸・塩基液晶の鋳型重合による
新規多孔性材料の創成



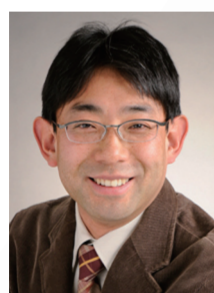
中西 尚志（物質・材料研究機構）
次元規制型フラレン超分子を
素材とする新規材料創製



岩浦 里愛（食品総合研究所）
DNAを鋳型とした
ナノファイバーの構造制御



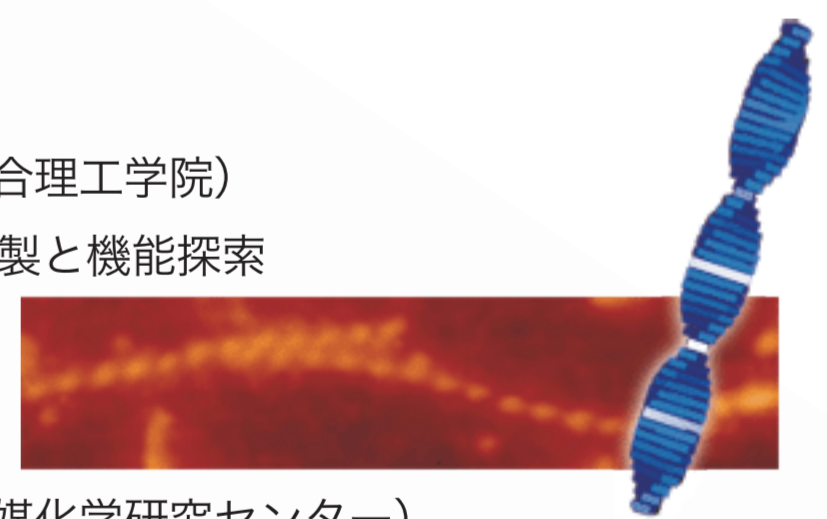
羽村 季之（関西学院大学）
反応性分子が拓く π 共役系分子の多様性と機能



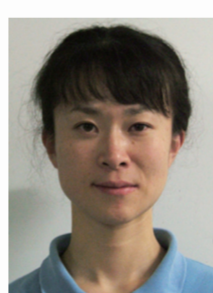
岡崎 俊也（産業技術総合研究所）
分子内包による
カーボンナノチューブ機能材料の創製



前田 大光（立命館大学総合理工学院）
アニオン応答性組織構造の創製と機能探索



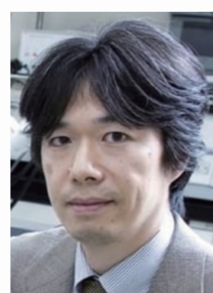
河合 英敏（北海道大学大学院）
適材適所の構造構築を実現する
アロステリック制御分子の
協同的自己集積法の開発



山内 美穂（北海道大学触媒化学研究センター）
合金ナノ粒子の構造制御と水素機能性発現



今場 司朗（食品総合研究所）
フォトリソグラフィーを活用した
糖鎖ナノデバイスの構築



吉田 亮（東京大学大学院）
自励振動高分子を用いた機能性表面の創製



高見澤 聡（横浜市立大学大学院）
分子性固体内微小空間の動的制御と機能化



山田 真実（東京農工大学大学院）
集積型金属錯体ナノ粒子を利用した
スピン依存単電子デバイスの構築



谷口 正輝（大阪大学産業科学研究所）
自己組織化配線法による
超高集積分子デバイスの創製

